


彩の国のアカヤシオ咲く両神山 両神山

実施日 2024年4月17(土)

天候 曇りのち晴れ

リーダー 宮崎 敏男

参加者 遠井謙策、宮崎敏男、佐藤聡美、計3名

費用 池袋～西武秩父796円、 秩父～日向大谷700円・計2,992円
前泊両神荘10,500円

タイム 両神荘(5:30)日向大谷登山口発(6:10)清滝小屋(8:50~9:10)両神山(10:40~11:40・昼食)両神神社(11:50)清滝小屋(12:40)日向大谷(下山)14:40

記録 距離12.8km 標高差1813m
タイム計8h30m休憩2.0H ネット6h30m

沿岸低気圧が周期的に北上するこの時期、両神山の天気ははじめ曇りの予想。前日には曇り雨に悪化！頂上に立てない天気じゃないと実施決定。当日マイカーのフロントに雨粒なるもこの後回復し山頂では晴れにめぐまれほっと安心。

表参道コースは終盤こそ鎖・ロープの箇所あるがさして危険個所はない。しかし日帰り登山にはハードな山、日頃の山への親しみは欠かせない。



弘法ノ井戸の頭上の弘法像、頂上近く両神神社の山犬阿吽像の神秘的可愛らしさは印象的。

最後の岩場を登れば剣が峰(山

2019年台風惨禍により七滝沢コース、白井差新道はス、白井差新道はまクローズされたままであった。両神山は古来信仰の山。歩き始めれば石像、石碑、丁目石が次ぎ次に現れ、

頂)。狭い山頂には二等三角点、両神社の方位盤がいた。残雪をはじめ、360度の眺望であった。



眺望であった



また登山途中ではハシコ、トツバ、アカヤシオの咲き初め、下山路

の二輪草の群生にもお目にかかれた両神山百名山以



下山は往路を急がず駆け降り？こころよい筋肉痛の予感余韻を楽しみました。

下山後は前泊の両神荘に戻り薬師の湯にゆったり浸かり今回の山行を終えました。

(記&写真・宮崎 敏男)
写真(遠井謙策・佐藤聡美)

私の一言

◆15年振りの地元の名山、軽やかなの犬滅ろ意外な行程の長さの易い潤いな山だろ意助は仲間2人の会話を聞いた古いの犬滅ろは？頭骨！あれは本当に絶だろのうか？ (遠井謙策)

◆険しく霊験あらたかな山の登新緑の芽生えつつ！と胸をうたう御座いました。(佐藤聡美)